

親鴨会 12月メッセージ「わたしの2022年」

2022年はコロナ禍は継続し、ウクライナ侵攻など終息が見通せない事柄が多く、なかなか落ち着いた年末気分になれません。

個人的には、満75才で後期高齢者の仲間入りをし、運転免許の更新時も認知機能検査を受けたり、アイビーエムの健康保険組合の退職者保険から国民健康保険に切り替わるなど、自分の年齢を自覚させられる事象の多い年でした。加えて、鉄道好きの私としては、今年は鉄道開業150周年ということで「俺が75才で、鉄道が丁度倍か」と自己満足的な感慨に耽っておりました。

中学生の時、一人で関東近郊の私鉄を巡り、父に借りたフィルムカメラで鉄道写真を撮っていました。世田谷区の東急砧線、茨城県の竜ヶ崎鉄道、埼玉県の東武鉄道の杉戸機関庫などの写真を見ていると一人旅の楽しさを含めて思い出が蘇ります。

残念ながら、自分が写っている写真は有りません。今だったら、スマホで蒸気機関車と一緒に自撮りしていたのでしょう。そんなことを考えていると、あっという間に冬の陽は傾いていきます。

来年は今年の反省を生かして、もう一步良い世界になってほしいと期待しつつ、来年こそそのんびりと旅に出ようと思っています。

親鴨会 会長
内池 正名